

3. 各置き家具の耐震の為の工夫

1) キッチン

い キッチン側には左側から

- ①キッチンセット W=1200mm D=550mm -①
- ②水切りカウンター W=290mm D=550mm -②
- ③冷蔵庫
- ④収納棚 W=520mm D=150mm -③

ろ 奥には

- ①3連窓左下段窓枠内収納 W=380mm D=90mm -④
- ②手前に最後に設置したオープン設置ための台形の棚 -⑨

は 南面3連窓側には左側から

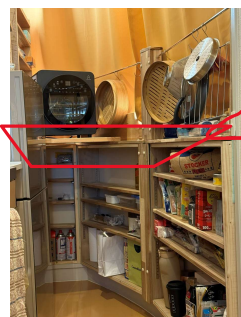
- ①3連窓中央下段窓枠収納 w=800mm D=150mm -⑤
その上部に蒸籠干し用鉄筋バーセット -⑥
- ②3連窓右下段窓枠内収納 w=800mm D=150mm -⑦
その上部に蒸籠干し用鉄筋バーセット -⑧

ここで いの列とはの列が向かい合っており

ろの列がその間に挟まれて奥にある。

コの字型に配置されている。

いの列とはの列は離れ寸法が約700mm（通路幅の離れ）となっている。



このオープン棚板
で左右の棚板をこ
ていしてコの字型
の家具としている

そこで、いの列とろの列をビス止めにて緊結し

（すぐに外せるようにビスキャップ+座金仕様にて解体時の目印とした）

又、ろの列の水平材（カウンター板）を加工して

いの列の転倒防止材（押さえ材）とした。

次に、ろの列とはの列を

ろの列の⑨のオープン設置のための棚材の両端部をそれぞれ

いの列 はの列の部材とビス止め緊結することによって

地震時の転倒対策とした。

又、はの列の⑤と⑦は離れているために

上部に設置の⑥と⑧を部材を接するようにして緊結部材をビス止めにて

連結構造とした。

いの列も、

①と②はアルミテープにて固定

②と③は壁面部材にて連結している。



キッチン部は全体に連結されており、この字型の置き家具となっている。

ちなみに、はの列の下段窓枠内収納棚の背面材は

㊦ 背板化粧板 厚さ=2.5mm

㊧ スタyroフォーム 厚さ=20mm

㊨ アルミ断熱シート 厚さ=1mm

これらがサッシ枠に耳掛けしてあり、地震時のキッチン用品の衝突での窓ガラスの破損防止と南面での日差しからの断熱対策としてある。

さらに

㊩ 空気層 幅=15mm

㊪ プラダン 厚さ=2mm

を設置して緩衝材としている。

2) ダイニングコーナー

- ①通路部の食器棚
- ②本棚
- ①と②をビスで連結している。
- ③本棚の右上部に腕木材を伸ばしカーテンレールの壁側に突き出しカーテンレールにて地震時の転倒防止としている

3) リビングコーナー

- ①柱型腰壁パネル材をこの字型に緊結した。
上部に平アングル材（スチール製）をパネルの開き防止材としてビス止め設置した。
- ②壁側端部下部にエル型アングル材（ステンレス製）を床面にはフェルト敷き込みにてビス止め設置してパネル材の転倒防止対策とした。
- ③壁パネル正面に折り畳み式机・テーブルとパソコン・TV台兼下部収納棚をセットしてその重心を低くすることにてこの字型壁パネルの正面部屋中央部方向への転倒防止を兼ねた。





4. 制作費用（材料代）

A：在庫 B：購入

1) キッチン

Aの概算

①水切りカウンター		
カウンター	A	1,500
方立材	A	1,000
アルミテープ	A	300
②冷蔵庫右収納棚		
上下枠	A	1,000
方立材	A	1,000
棚板材	A	1,000
③幅380mm収納棚		
四方枠	A	1,000
ダボレール	A	1,200
ダボ	A	600
アカシア棚板材	B	
④同上上部オープン専用棚		
台形棚板材	A	1,000
⑤幅800mm収納棚×2		
四方枠	A	1,000
ダボレール	A	1,200
アカシア棚板材	B	
スタイロフォーム	B	
背板化粧材	B	
アルミ断熱シート	B	
プラダン	B	
⑥道場上部蒸籠蒸し収納用鉄筋バーセット×2		
鉄筋	A	200
下枠・建枠材	A	800
アルミシート	B	

2) ダイニングコーナー

①食器棚		
台輪	A	1,000
四方枠	A	1,000
化粧材（リフォーム床材）	B	
ダボレール	A	1,200
ダボ	B	
アカシア棚板材	B	
②本棚		
過去の作品にて今回は省略		

3) リビングコーナー

①この字型杉カフェ材パネル		
杉カフェ材	B	
下地針葉樹合板	B	
壁クロスとの養生材	A	1,000
床との養生フェルト	B	
笠木103材	B	
笠木下コーナー平アングル	B	
端部下部エル型アングル	B	
②折り畳み式机・テーブル・TV・PC台下部収納		
パイン材机板	B	
脚部修正無垢材	B	
キャスター	B	
丁番	B	
TV/PC 台建枠	A	1,000
同上建枠	A	1,000
ダボレール	A	1,200
ダボ	B	
アカシア棚材	B	
塗料・ウエス	B	



4) ピクチャーウィンドウのカフェコーナー

①カフェ棚		
タモ集成材	A	600
丁番	B	

7) 玄関ホール

①キャスター収納棚		
棚板材	A	2,400
建枠材 (5.5mmフロア材+リフォーム床材)	A B	3,000
キャスター	B	
在庫品 Aの合計		26,200円



上記の資材の内、今回購入品

①パイン集成材	10,800
②キャスター	2,000
③丁番	3,000
④杉カフェ板	12,890
⑤フェルト	800
⑥ウェス	598
⑦塗料	2,560
⑧アングル	5,000
⑨103材	1,256
⑩ビス座金・ビスキャップ	1,100
⑪針葉樹合板	4,000
⑫ビス等	2,000
⑬コンセント等	3,000
⑭リフォーム用フロア板	7,480
購入品 Bの 小計	56,484円
在庫品 Aの概算小計	26,200円

あくまでも概算にて、その他Bは在庫品を使用。



資材 概算 計	82,684円
接合金物他諸経費	17,316円

資材等合計 100,000円





5. 制作及び設置日数

1) キッチン 2) ダイニングコーナー

2025年10月19日	採寸			
2025年10月22日～24日	作業①	3日	計12 h	
2024年10月25日				設置① 3 h
2025年10月26日	作業②	1日	6 h	
2025年11月4日～8日	作業③	5日	計24 h	
2025年11月9日				設置② 3 h

3) リビングコーナー

2025年11月10日～15日	作業④	6日	計30 h	
2025年11月16日				設置③ 3 h
2025年11月17日～21日	作業⑤	5日	計27 h	
2025年11月22日				設置④ 3 h

4) ピクチャーウインドウのカフェコーナー

2025年11月23日	作業⑥	1日	4 h	
2025年11月24日				設置⑤ 2 h

7) 玄関ホール

2025年12月12日～13日	作業⑦	2日	6 h	
2025年12月21日				設置⑥ 1 h 完了

作業	延べ日数	23日	延べ時間	109 h
設置	延べ日数	6日	延べ時間	15 h
合計		29日		124 h

費用に換算すると 124 h × 3,000円 = 372,000円
若しくは 16日 × 30,000円 = 480,000円 となるよう

だ。

安く見積もって材工で

①資材	100,000円
②工事手間	480,000円
③ホームセンター資材調達費・交通費等	20,000円
④アイデア・イメージスケッチ・ラフスケッチ等	150,000円

合計 750,000円 としておこう。

